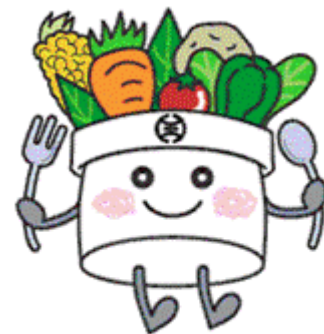


離乳食教室 初期クラス



はちおうじ食育キャラクター

はっちくん

あなたのみちも、
あるけるま+。

八王子

本日のプログラム

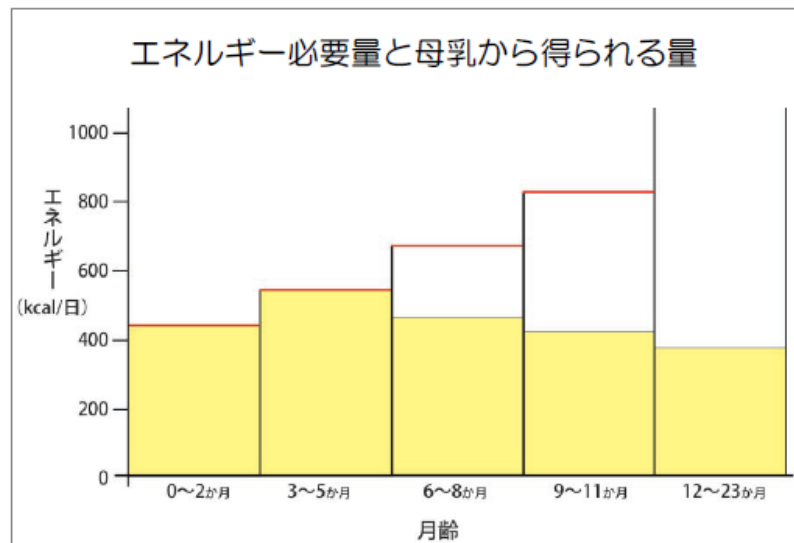
- 離乳食開始～2回食への進め方
- 食物アレルギーについて
- 10倍粥の作り方
- 離乳食相談会



離乳食の目的

🍼 エネルギーや栄養素の補給

成長に伴い、母乳や育児用ミルクだけでは不足してくるエネルギーや栄養素を補うために離乳食を開始します。



- エネルギーの「差」
- 母乳から得られるエネルギー

離乳食の目的

🍼 咀嚼機能の発達（口と舌を動かす練習）



🍼 消化酵素を出す練習

赤ちゃんは、母乳やミルクを分解する酵素（乳糖分解酵素）はもともと持っていますが、他の消化酵素は月齢に合わせて少しずつ新しい食べ物を食べて経験することで出てくるようになります。

🍼 味覚を発達させる練習

赤ちゃんは、生まれながらにして甘味、うま味は受け入れることができますが、塩味、苦味、酸味は食べて経験することで抵抗感なく受け入れられるようになります。

離乳食に準備は必要？

離乳の開始前に果汁やイオン飲料などを飲ませると、母乳やミルクを飲む量が減ったり、必要なエネルギーや栄養素が不足することもあります。

乳汁以外の味に慣らせるのは離乳開始後で十分です。スプーンを口に慣れさせようとするのも離乳食が始まってからで大丈夫です。

※かつては、離乳の準備として果汁をあげることが推奨されていました。「授乳・離乳の支援ガイド 2019年改訂版」から、離乳の開始前に果汁やイオン飲料を与えることの栄養学的な意義は認められていないことが明記されました。

離乳食 開始の目安(生後5~6か月頃)

🍼 首のすわりがしっかりして寝返りができる



🍼 食べ物に興味を示す

🍼 スプーンなどを口に入れても舌で押し出すことが少なくなる
(哺乳反射の減弱)



離乳食の留意点

衛生面

調理の前に手を洗いましょう。

食品は必ず加熱してください。

食べ残しや調理後に常温で長時間経過した食事は与えないようにしてください。

アレルギーの反応がないか

心配だから・・・と開始時期を遅らせてもアレルギーの発症予防にはなりません。

適切な時期に始めましょう。

楽しい雰囲気





はちみつは満1歳まではあげない

赤ちゃんは腸内環境が整っておらず、ボツリヌス菌が増えて毒素を作ってしまうため、乳児ボツリヌス症を発症することがあります。

離乳初期（1回食）進め方

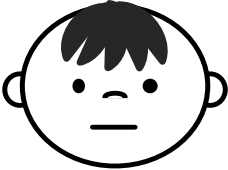
離乳食の進め方目安

目安ですので、赤ちゃんの成長や状況に応じて進めましょう。
使える食品は月齢に応じ増えていきます。色々な味、食感を体験させてあげましょう。

月齢	STEP1 5～6か月頃(離乳初期)		STEP2 7～8か月頃(離乳中期)		STEP3 9～11か月頃(離乳後期)		STEP4 12～18か月(離乳完了期)	
	1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5～6か月目	7か月目	8～11か月目	12～14か月目
離乳食開始からの目安								
離乳食の回数	1	1→2	2		3		3 → 3+2(間食)	
リズムの確立	授乳リズムを整えて		生活リズムを整えて					
栄養の主体	母乳・ミルクが主体				離乳食が主体			
胃の大きさ	約180～200ml		約200ml		約200ml		約200～250ml	
獲得する摂食機能	唇を閉じて飲み込む  ごっくん		舌による押しつぶし  もぐもぐ		歯ぐきでの咀嚼、すりつぶし  かみかみ かじりとり		前歯で噛み取り 奥歯で噛みつぶし  ぱくぱく かじりとり	
固さの目安	トロトロポタージュ状 → ヨーグルト状 → ベタベタマッシュ状		舌と上あごでつぶせる固さ 絹ごし豆腐 → 木綿豆腐 お母さんの親指と小指で つぶせるくらい		歯ぐきでつぶせる固さ バナナ お母さんの親指と薬指で つぶせるくらい		歯ぐきでかめる固さ 肉だんご お母さんの親指と中指 → 親指と人さし指で つぶせるくらい	

離乳初期（1回食）ポイント

まだまだ母乳・
ミルクが栄養の
主体

月齢	STEP1 5～6か月頃（離乳開始）	
離乳食開始からの目安	1か月目	2か月目
離乳食の回数	1	1→2
リズムの確立	授乳リズムを整えて	
栄養の主体	母乳・ミルクが主体	
胃の大きさ		
獲得する摂食機能	唇を閉じて飲み込む  ごっくん	
固さの目安	トロトロポタージュ状 → ヨーグルト状 → ベタベタマッシュ状	

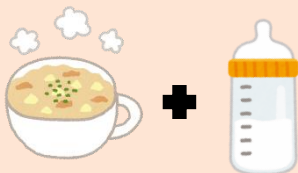
唇を閉じて
ごっくん
出来ているか

離乳初期（1回食）生活リズム(参考)

AM
6:00



AM
10:00



PM
2:00



PM
6:00



PM
10:00



1回目 母乳・ミルク

2回目 離乳食+母乳・ミルク

2回目の授乳時間がお勧めです。
離乳食と授乳は必ずセットで。

3回目 母乳・ミルク

4回目 母乳・ミルク

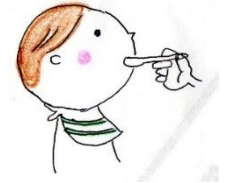
5回目 母乳・ミルク

離乳食の食べさせ方

🍼 ① 下唇の中心にスプーンをのせる



🍼 ② 上唇が下りてくるのを待つ



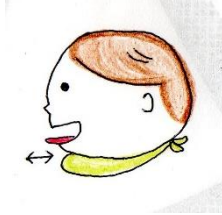
🍼 ③ スプーンを水平に引き抜く



はじめは離乳食を食べさせても上手に唇を閉じることができません。口からこぼれたら、スプーンで受けて、また口に入れてあげる・・・を繰り返すことで唇を閉じることを覚えていきます。

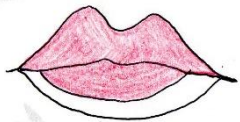
離乳初期（1回食）口の動き

🍼 舌は前後運動が中心です



🍼 唇を閉じてゴックンと飲み込む

- ・上唇の形は変わらず、下唇が内側に入る
- ・口角はあまり動かない
- ・口唇を閉じて飲み込む



このような動きが安定してみられるようになると、ペースト状の食品を飲み込む機能が獲得されたと考えられます。

















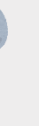







10倍粥からスタート


米1に対し、水10の割合で作ります



おかゆはつぶつぶがあると嫌がることが多いので、茶こしなどで濾してトロトロ、ポタージュ状にすると食べやすくなります。

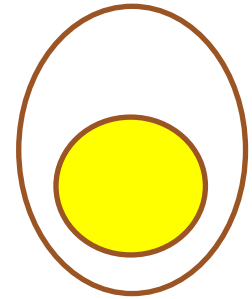
離乳初期（1回食）進め方の例

	1・2日	3・4日	5・6日	7・8日	9・10日	11・13日	14・15日	16・17日	18・19日	21日以降
おかゆ				 ×3	 ×3	 ×3	 ×4	 ×4	 ×6	 ×6
いも										
野菜									 ×3	 ×3
豆腐										

 =ティースプーン1杯(5ml)

卵のあげ方 ポイント

🍼 時期：1回食に慣れてきた頃




🍼 作り方：中央までしっかり加熱（約20分）した固ゆで卵を用意

🍼 食べ方：黄身の中心部分を耳かきひとさじ分程度とって、白湯や出汁でのばしてあげる

🍼 慣れるまでは、病院が開いている時間帯に

離乳初期（1回食）調理形態

時期	離乳食開始	⇒⇒⇒	開始1か月後程度
状態	トロトロポタージュ状	ヨーグルト状	ベタベタマッシュ状
	 <p>液体に近いなめらか状</p>	 <p>⇒⇒⇒</p>	 <p>水分を徐々に減らす</p>

離乳初期（1回食）量の目安(1)

		離乳の開始	→			離乳の完了
		以下に示す事項は、あくまでも目安であり、子どもの食欲や成長・発達の状況に応じて調整する。				
		離乳初期 生後5～6か月頃	離乳中期 生後7～8か月頃	離乳後期 生後9～11か月頃	離乳完了期 生後12～18か月頃	
食べ方の目安		○子どもの様子を見ながら1日1回1さじずつ始める。 ○母乳や育児用ミルクは飲みたいだけ与える。	○1日2回食で食事のリズムをつけていく。 ○いろいろな味や舌ざわりを楽しめるように食品の種類を増やしていく。	○食事リズムを大切に、1日3回食に進めていく。 ○共食を通じて食の楽しい体験を積み重ねる。	○1日3回の食事リズムを大切に、生活リズムを整える。 ○手づかみ食により、自分で食べる楽しさを増やす。	
調理形態		なめらかにすりつぶした状態	舌でつぶせる固さ	歯ぐきでつぶせる固さ	歯ぐきで噛める固さ	
1回当たりの目安量						
I	穀類 (g)	つぶしがゆから始める。 すりつぶした野菜等も試してみる。 慣れてきたら、つぶした豆腐・白身魚・卵黄等を試してみる。	全がゆ 50～80	全がゆ 90～軟飯80	軟飯90～ ご飯80	
II	野菜・果物 (g)		20～30	30～40	40～50	
III	魚 (g)		10～15	15	15～20	
	又は肉 (g)		10～15	15	15～20	
	又は豆腐 (g)		30～40	45	50～55	
	又は卵 (個)	卵黄1～ 全卵1/3	全卵1/2	全卵1/2～ 2/3		
	又は乳製品 (g)	50～70	80	100		

離乳初期（1回食）量の目安(2)

🍼 身体発育曲線で判断を

図3 乳幼児（男子）身体発育曲線（体重）

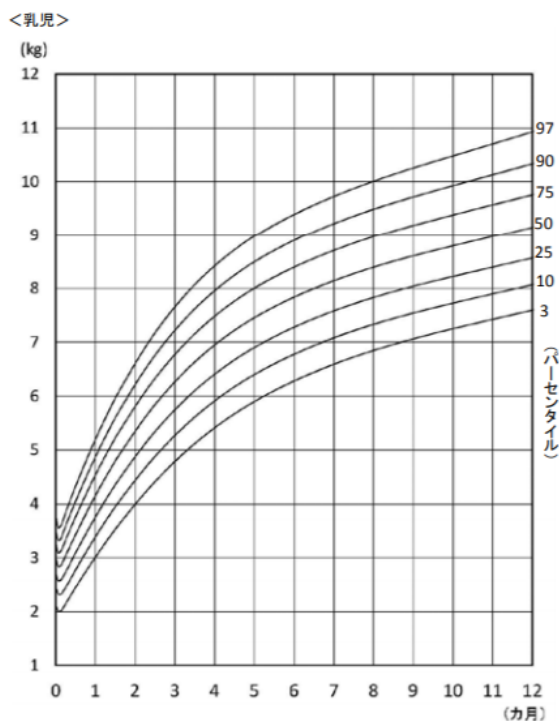
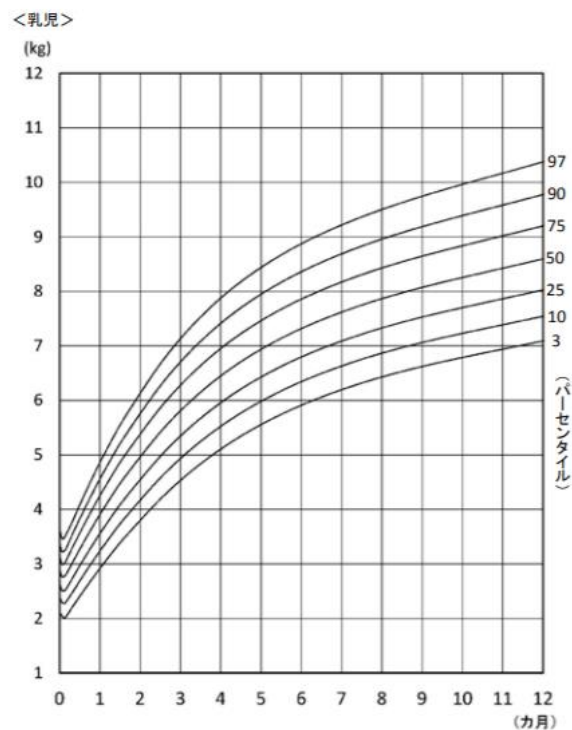


図4 乳幼児（女子）身体発育曲線（体重）



食事の量が足りているかどうかは、発育曲線（母子手帳にも記載あり）が
目安になります。

離乳中期（2回食）ステップアップのポイント

- 🍼 1日1回の離乳食のリズムが定着している
- 🍼 ベタベタ、マッシュ状がゴックンと飲み込める
- 🍼 お粥・野菜・たんぱく質の3種類が1食に入っている

子どもによって個人差があるので、焦らず、
ゆっくりと進めていきましょう

離乳中期（2回食）生活リズム（参考）

AM
6:00



1回目 母乳・ミルク

初めての食材は
1回目の時間に

AM
10:00



2回目 離乳食+母乳・ミルク

PM
2:00



3回目 母乳・ミルク

2回目の離乳食

PM
6:00



4回目 離乳食+母乳・ミルク

量は1回目に
食べている量の
1/3~1/2から
スタート

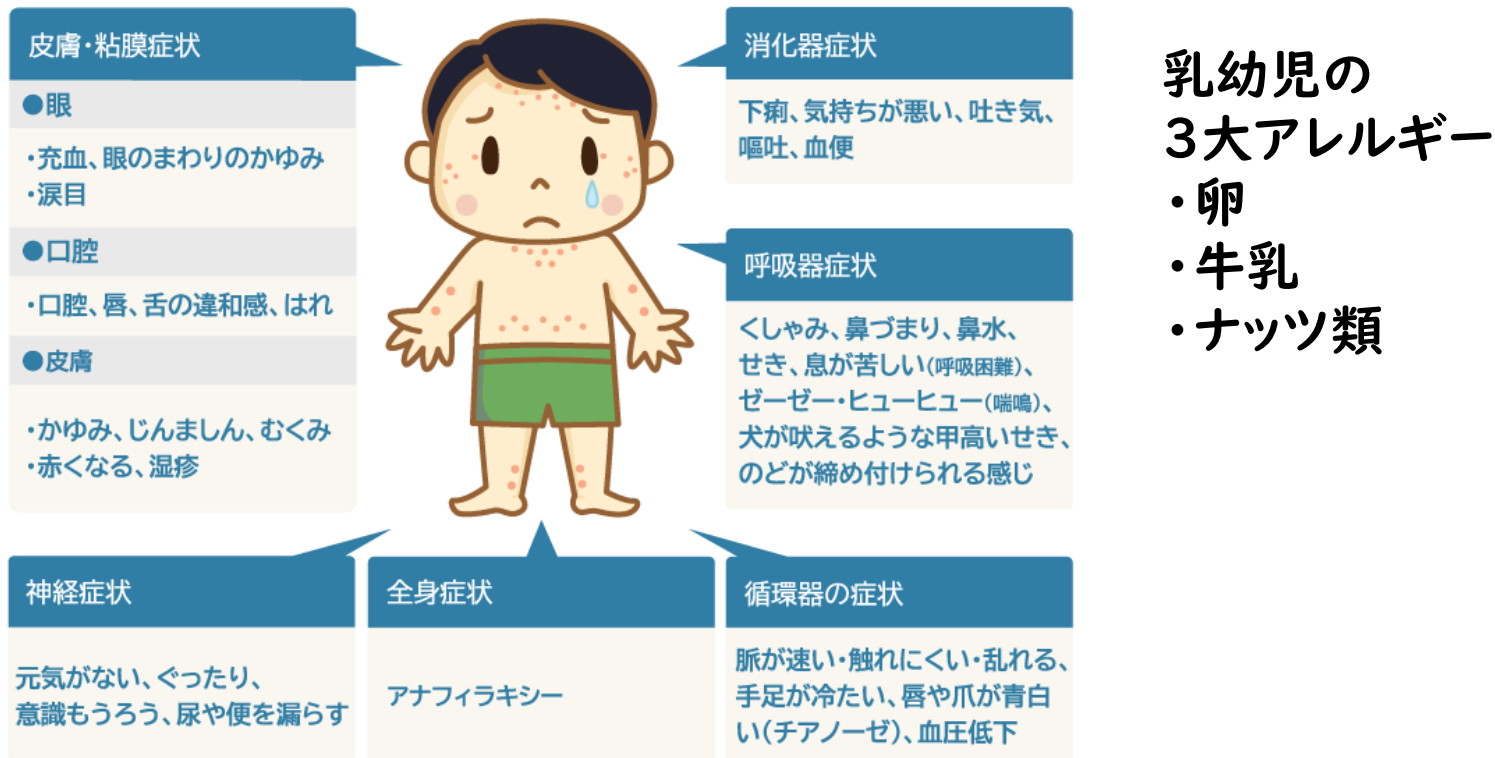
PM
10:00



5回目 母乳・ミルク

食物アレルギー

食物が原因となり免疫学的機序（体を守る働きを免疫という）を介してじんましんなどの症状が起こること。



出典：(公財)ニッポンハム食の未来財団ホームページ(<https://www.miraizaidan.or.jp/allergy/illustrations.html>)

◎保護者が自己判断で対応せず、食物アレルギーが疑われる症状が見られたら、必ず医師の診断に基づいた対処をしましょう。

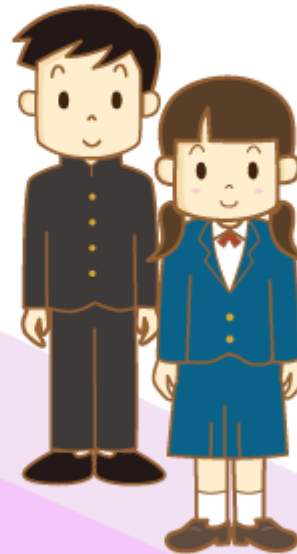
食物アレルギーの種類

乳児

幼児

学童

思春期
成人



- ・新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症
- ・食物アレルギーが関与しているアトピー性皮膚炎

即時型食物アレルギー

- ・口腔アレルギー症候群
- ・食物依存性運動誘発アナフィラキシー

※ 新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症は新生児・乳児消化管アレルギーと同義です。病名が変更されました。

食物アレルギーの予防

リスク因子



家族歴



短い日光照射



皮膚バリア機能の低下



環境中の食物アレルギー

予防法

妊娠中・授乳中に食物除去をしても予防効果なし



湿疹、アトピー性皮膚炎の乳児



湿疹、アトピー性皮膚炎の治療



離乳食開始を遅らせない。皮膚をきれいにして、食物アレルギーの原因として多い食物摂取を遅らせない

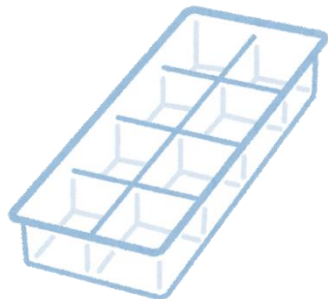


冷凍テクニック

冷凍保存のポイント

- ①よく冷ましてから冷凍庫に入れる
- ②短時間で冷凍する
- ③品名と冷凍した日を明記する
- ④1週間をめどに使い切る
- ⑤使うときは必ず再加熱する

製氷皿を使って



フリーザーバッグを使って



棒状にしてラップで包んで



ベビーフード(1)

🍼 あげる前に保護者がベビーフードを1口食べて確認を

(おし歯菌が移るので、大人が使ったスプーンを使うのは控えましょう)

🍼 離乳食を手作りする際、固さや味付けなどの参考に

🍼 衛生面の観点から、食べ残しや開封してから時間の経ったものは与えない



🍼 用途に合わせて上手に選択を

ベビーフード(2)

参考:「ベビーフード自主規格」について

- ・味付けは必要最低限とし、塩分の目安となるナトリウム量で規定
- ・離乳食の進行に合わせて、固さや物性を調整
- ・食品添加物の使用は必要不可欠な場合に限り最小限にとどめ、使用できる添加物も限定
- ・衛生管理、残留農薬、遺伝子組み換え食品、品質表示など関連法規を遵守し、独自基準を設け管理している

離乳初期（1回食）振り返り

- 🍼 母乳・ミルク以外の味、食感に慣れるための時期です。
- 🍼 栄養は基本的に母乳・ミルクから摂取するので、焦らず、ゆっくり進めていきましょう。

離乳食相談会

離乳食相談会



個別相談のご案内

乳幼児の保健・栄養・歯科相談をお受けしております。
お気軽にご相談ください。

電話相談は随時、面接相談は要予約。

こども家庭センター大横 母子保健担当 TEL:042-625-9200
こども家庭センター東浅川 母子保健担当 TEL:042-667-1331
こども家庭センター南大沢 母子保健担当 TEL:042-679-2205

★月曜日から金曜日(土・日・祝日・年末年始を除く)

★午前9時から午後4時